



平成 17 年 7 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社協和コンサルタンツ
代表者名 代表取締役社長 高 柳 義 隆
(JASDAQ ・ コード 9 6 4 7)
問合せ先 経営管理室長 山本 信孝
電 話 03 3376 3171

平成 17 年 11 月期中間(連結・単独)業績予想及び
通期(連結)業績予想の修正に関するお知らせ

平成 17 年 11 月期(平成 16 年 12 月 1 日～平成 17 年 11 月 30 日)の業績予想について、平成 17 年 1 月 25 日付当社「平成 16 年 11 月期決算短信(連結)」及び同日付当社「平成 16 年 11 月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1.平成 17 年 11 月期連結業績予想の修正

(1) 中間期(平成 16 年 12 月 1 日～平成 17 年 5 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	4,000	500	290
今回修正予想(B)	3,530	440	230
増減額(B-A)	470	60	60
増減率	11.8%	12.0%	20.6%

(2) 通期(平成 16 年 12 月 1 日～平成 17 年 11 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	6,300	450	270
今回修正予想(B)	6,000	400	230
増減額(B-A)	300	50	40
増減率	4.7%	11.1%	14.8%

(3) 修正理由

当社グループは、上半期において、公共事業費の縮減、価格競争の激化等による厳しい市場環境にもかかわらず前年同期と同程度の受注量を確保いたしました。しかしながら、工期の長い案件の受注割合が予定よりも多かったために、期内の売上計上が出来なかったことから、当中間期の売上高は前回予想を若干下回りました。売上高減少に見合って、経常利益、当期純利益も減少いたします。

以上の他、当期純利益の減少には、設備投資に類する主要拠点の事務所移転費用(38 百万円)を特別損失として計上したことも影響しております。

通期におきましては、中間期の業績に鑑み、これに見合った連結業績予想値に修正いたします。

(4) ご参考：前期中間期(平成15年12月1日～平成16年5月31日)連結実績との対比

(単位：百万円)

	受注高	前年比	売上高	前年比
前期中間期(15/12～16/5)	3,208		3,837	
当期中間期(16/12～17/5)	3,183	99%	3,530	92%

2. 平成17年11月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期(平成16年12月1日～平成17年5月31日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	3,400	410	230
今回修正予想(B)	3,180	340	180
増減額(B-A)	220	70	50
増減率	6.5%	17.5%	21.7%

(2) 修正理由

連結の修正理由と同様の要因にて、若干の修正となりました。

単体の通期業績予想につきましては、修正はありません。

ご参考：通期(単独)業績予想(平成16年12月1日～平成17年11月30日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想	5,100	300	180

(3) ご参考：前期中間期(平成15年12月1日～平成16年5月31日)単体実績との対比

(単位：百万円)

	受注高	前年比	売上高	前年比
前期中間期(15/12～16/5)	2,518		3,323	
当期中間期(16/12～17/5)	2,696	107%	3,180	95%

上記の各予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は今後の要因によって予想値と異なる場合があります。

以上